

# トーマス・アルスラン監督特集

— 移民映画からベルリン派、そしてグローバルな映画地平へ —

## 『休暇』 + 『イン・ザ・シャドウズ』 上映会

日本語字幕つき/入場無料

講演：渋谷哲也 「現実と虚構の狭間を射抜く眼差し—アルスランの映像美学」

2012年3月初旬、トーマス・アルスラン監督の初来日にもとない都内でも数々のアルスラン作品が上映されました。また上智大学ヨーロッパ研究所主催の「映像ゼミナール」にもお越しいただき、作品について監督から直接じっくりお話を伺う機会にも恵まれました。今回はそのインパクトを受け継ぎ、鑑賞者の視点からトーマス・アルスランの映像について探究する場を設けたいと思います。監督の来日にも尽力された、映画研究の専門家である渋谷哲也氏に解説・監修をお願いし、映画の上映とともにトーマス・アルスラン監督の作品世界について講演いただきます。

【日時/場所】 2012年12月1日(土) 上智大学 (9号館 9-252 教室)

13:00 開場

13:30 『休暇』 上映開始 (～15:00)

15:15 『イン・ザ・シャドウズ』 上映開始 (～16:40)

16:45 講演：渋谷哲也 (～18:00)



お問い合わせ：上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学中央図書館 7 階

Tel.: 03-3238-3902 FAX: 03-3238-3533

E-mail: i-europe@sophia.ac.jp

映像ゼミナール 2012 初冬 (上智大学 ヨーロッパ研究所 主催)

トーマス・アルスラン監督特集 — 移民映画からベルリン派、そしてグローバルな映画地平へ —  
『休暇』 + 『イン・ザ・シャドウズ』 上映会

## 「現実と虚構の狭間を射抜く眼差し—アルスランの映像美学」

渋谷哲也 (東京国際大学准教授)

1962年ドイツ生まれのアルスランは、トルコ系の父とドイツ系の母を持つ出自ゆえにトルコ系移民二世の監督を代表する存在としてファティ・アキンと並び称された。またベルリンドイツテレビ映画アカデミーの同窓生クリスティアン・ペッツォルトやアンゲラ・シヤネレクとともに繊細な映像重視の作風を特徴としていたため、「ベルリン派」という新しいドイツ映画の潮流としてジャーナリズムや映画人の注目を集めた。たしかにアルスランの知名度を上げた出世作は、ベルリンに住むトルコ系移民二世の若者の日常を取り上げた三部作『兄弟』(1996)、『売人』(1998)、『晴れた日』(2001)である。その後制作された、トルコを西から東に横断する紀行スタイルのドキュメンタリー映画『彼方より』(2005)では、エスニックな眼差しで「トルコ」があらためて見つめ直されて注目された。

だが近年のアルスランは「トルコ」というテーマから離れ、もっとグローバルな映画文化に身を置こうとしているようだ。そのさいに素材に選ばれるのは「家族」という主題や「犯罪映画」という普遍性を備えた映画ジャンルであったりする。しかし彼の映像美学やまなざしのスタイルは初期作品から揺らぐことなく一貫している。ゆえにこう問うことができるだろう。アルスラン映画においてトルコやドイツといった文化的アイデンティティはただのレッテルにすぎないのか、と。それを考察するには、まずアルスランの映画そのものに深く向き合うことが重要だ。

今回の映像ゼミナールでは、アルスランが近年に制作した2作品『休暇』と『イン・ザ・シャドウズ』を上映する。どちらも平易なストーリーテリングを特徴とし、一見して政治性、社会批判、シンボルなどの「深読み」を退ける作風だが、その表層を透過して見えてくるものは、ずっと多様で複雑なニュアンスの戯れである。ある意味では、映画のもっとも純粋なあり方を志向しつつ、そのスタイルに世界と映画への省察が内包されている。その深みに向けて分析的に対峙してみたい。

【日時/場所】 2012年12月1日(土) 上智大学 (9号館 9-252教室)

13:00 開場

13:30 『休暇』 上映開始 (～15:00)

15:15 『イン・ザ・シャドウズ』 上映開始 (～16:40)

16:45 講演: 渋谷哲也 (～18:00)

## トーマス・アルスラン Thomas Arslan

1962年、ドイツのブラウンシュヴァイク生まれ。小学校時代の四年間をアンカラで過ごした後、ドイツに戻る。86年にベルリンの映画テレビアカデミーに入学し、92年より映画監督・脚本家として活動する。代表作はベルリンのトルコ系移民二世の若者を取り上げた三部作『兄弟』、『売人』、『晴れた日』。2005年の『休暇』以降はトルコや移民とは無関係な映画を撮り続ける。2010年に初めてのジャンル映画『イン・ザ・シャドウズ』を発表し、高い評価を得る。現在、北米で金鉱探しをするドイツ系移民の実話を基にした最新作『黄金』（仮題）を製作中。

### 上映作品

#### ① 『休暇』 Ferien

2007年（91分）DVD 上映

監督・脚本：トーマス・アルスラン

撮影：ミヒヤエル・ヴィースヴェック

出演：アンゲラ・ヴィンクラー、カロリーネ・アイヒホルン、ウーヴェ・ボーム

#### 【解説】

ベルリンの郊外ウッカーマルク。森に囲まれた閑静な家にアンナは夫と息子と暮らしている。ある夏の日、アンナの前夫との間の娘ラウラが恋人と子どもと共に休暇に訪れる。アンナの母親も重病のため、アンナの家で介護を受ける。これまでバラバラだった家族が集い、ぶつかり合い、お互いの関係が見つめ直される。ある者は去り、ある者は残り、夏は終わってゆく。

#### ② 『イン・ザ・シャドウズ』 Im Schatten

2010（82分）DVD 上映

脚本・監督／トーマス・アルスラン

撮影／ラインホルト・フォアシュナイダー 編集／ベッティーナ・ブリックヴェーデ 音楽／ガイア・イエンゼン

出演／ミシェル・マティシェヴィチ、カロリーネ・アイヒホルン、ウーヴェ・ボーム

#### 【解説】

アルスランが初めて手がけたジャンル映画。刑務所を出所したトロヤンは、かつての強盗仲間から仕事の分け前を得ようとするが、かえって命を狙われる。独立を守りたいトロヤンはドーラの手引きによって現金輸送車襲撃を計画する。だがそこに彼を執拗につけ回す汚職刑事が絡み、事件は思いがけない方向に展開する。

お問い合わせ：上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学中央図書館 7 階

Tel.: 03-3238-3902 FAX: 03-3238-3533

E-mail: i-europe@sophia.ac.jp